

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成30年度分)

法人名	独立行政法人国際交流基金	
案件番号		
入札及び契約方式	一般競争	
契約の件名及び数量	ファイル共有システム管理・保守業務及び更新業務委託契約	
契約締結日	平成30年7月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社アークシステム	
入札経緯及び結果	平成30年4月3日 入札公告 平成30年4月27日 仕様書に係る質問受付締切 平成30年5月23日 入札参加希望届及び業務提案書等提出締切 平成30年6月8日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成24年度の入札では最低価格方式を採用したが、平成30年度の入札は総合評価(加算方式)へ変更した。また、本件は、全体の業務期間を前半と後半とに分け、業務目的・内容を明確にした。次回も業務内容を踏まえて適宜見直しを行う予定である。
②業務等準備期間の十分な確保	○	平成30年度の入札では、前半業務期間中、高度サイバー攻撃対策となるログシステムの設計書の準備に5ヶ月を確保した。次回も業務内容に応じて適宜見直しを行う予定である。
③公告期間の見直し	○	平成24年度の入札では公告から入札まで51日確保した。平成30年度は公告から入札まで66日を確保した。次回も業務内容を踏まえて適宜見直しを行う予定である。
④公告周知方法の改善	×	平成24年度、平成30年度、いずれも候補となりそうな業者を対象に積極的に広報を行った。今のところ大きな改善策を見つけることは出来ていないため、次回も引き続き積極的に広報活動を行う予定である。
⑤電子入札システムの導入	×	今のところ導入の予定はない。
⑥業者等からの聴き取り	×	平成24年度、平成30年度、いずれも応札を辞退した業者に対してアンケート調査を行った。今のところ大きな改善策を見つけることが出来ていないため、次回も引き続きアンケート調査を実施する予定である。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
新規入札参加業者が業務内容をよりの確に把握でき、また総合評価方式を前提として業務提案がしやすいよう、仕様書の記述や余裕を持った入札日程の確保等を行い、候補になりうる業者についても情報収集に努め、入札参加を促したが、次回も同様の方策を図りたい。		
契約監視委員会のコメント		
基金の取組みは妥当であると考える。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き上記取組みを実施していく。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
渡邊一弘委員、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。